

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2002-359800
(P2002-359800A)

(43) 公開日 平成14年12月13日 (2002. 12. 13)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコト ⁸ (参考)
H 04 N	5/765	H 04 N	Z 5 C 0 5 2
5/76		7/16	C 5 C 0 5 3
7/16		5/91	L 5 C 0 6 4

審査請求 未請求 請求項の数8 OL (全 11 頁)

(21) 出願番号	特願2002-50135(P2002-50135)
(22) 出願日	平成14年2月26日(2002. 2. 26)
(31) 優先権主張番号	0 1 0 2 6 6 5
(32) 優先日	平成13年2月27日(2001. 2. 27)
(33) 優先権主張国	フランス (FR)

(71) 出願人 590000248
コーニンクレッカ フィリップス エレクトロニクス エヌ ヴィ
Koninklijke Philips Electronics N.V.
オランダ国 5621 ペーー アンド一
フエン フルーネヴァウツウェッハ 1
Groenewoudseweg 1,
5621 BA Eindhoven, The Netherlands
(74) 代理人 100070150
弁理士 伊東 忠彦

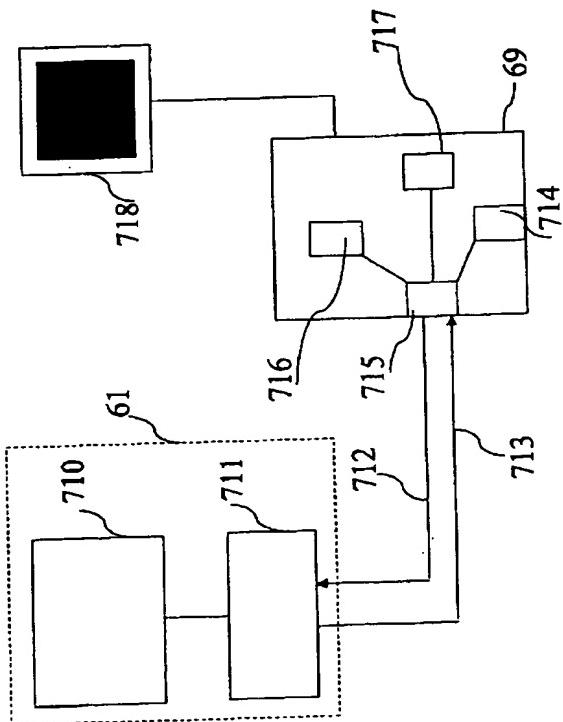
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 テレビジョンサービス契約方法

(57) 【要約】

【課題】 本発明は、サービスプロバイダーがユーザに多様な種の契約を提供することを可能にするサービスへの契約方法の提供を目的とする。

【解決手段】 テレビジョンプログラムに対する契約のモードは、プロバイダー 61 がユーザに種々の契約を申し出ることを可能とする。ユーザは、選択された契約どおりに設定されるデバイス 69 を持ち、記録プログラムの読み出し中若しくはプログラムの記録中の広告の時間を低減すること若しくは低減しないことが可能となる。結んだ契約に依存して、プログラムの記録中の広告を記録しないようにすること、記録されたプログラムの読み出し中の広告のスキップをすることが可能となり、或いは、ユーザは、広告時間でリーダーの“早送り”機能を作動停止する契約に従って設定されたデバイスによって、記録されたプログラムの読み出し中に広告を見ることを強制されるだろう。このモードは、デジタル若しくはアナログテレビジョンに対して、プロバイダーによって利用でき、契約者数が増加する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 少なくとも1つの特定のイベントを含む入力プログラムの処理に関するサービス契約方法であって、
選択された契約を基に設定でき上記選択された契約に基づいて上記特定のイベントを含む若しくは含まない出力プログラムを提供するのに適した上記特定のイベントの選択手段を、含むデバイスを持つ契約の選択を行うユーザに、多様な契約を提供するステップと、
該選択手段を設定する起因となる上記ユーザによる契約の選択の有効化を、行う有効化ステップとを含む、サービスプロバイダーによって実施されるサービス契約方法。

【請求項2】 上記入力プログラムは、イベントを示すテーブルを含み、上記選択手段は、上記テーブルのイベント状態に基づいて特定のイベントを選択するのに適している、請求項1記載のサービス契約方法。

【請求項3】 上記デバイスは、上記特定のイベントが読み出されている間、指定された契約に従って、記録されたプログラムの早送り手段を作動停止するのに適した作動停止手段を含む、請求項1記載のサービス契約方法。

【請求項4】 上記特定のイベントは、少なくとも一の広告を含む、請求項1記載のサービス契約方法。

【請求項5】 上記契約の上記選択は、該デバイスにリンクされたグラフィックインターフェース上に供された幾つかの契約の中から1の契約を選択することにより、なされる、請求項1記載のサービス契約方法。

【請求項6】 上記有効化ステップは、上記選択された契約の内容を示し上記選択された契約の機能どおりに該選択手段を設定するのに適した信号を該デバイスに送信することによって、上記サービスプロバイダーによって実行される、請求項1記載のサービス契約方法。

【請求項7】 少なくとも1つの特定のイベントを含む入力プログラムを読み出したためのデバイスであって、ユーザにより選択された契約を基に設定できユーザにより選択された契約に従って上記特定のイベントを含む若しくは含まない出力プログラムを提供するのに適した上記特定のイベントの選択手段を含む、デバイス。

【請求項8】 少なくとも1つの特定のイベントを含む入力プログラムを記録するためのデバイスであって、ユーザにより選択された契約を基に設定できユーザにより選択された契約に従って上記特定のイベントを含む若しくは含まない出力プログラムを提供するのに適した上記特定のイベントの選択手段を含む、デバイス。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、少なくとも1つの特定のイベントを含む入力プログラムの処理に関するサービスの契約方法に係る。

10 【0005】

【従来の技術】 テレビジョンプログラムは、一般的には、広告時間枠のような特定のイベントを含む。ユーザが例えば映画のようなプログラムを記録するとき、彼は、当該プログラムと共に広告時間枠の放送を同時に記録することになる。ユーザが、記録したプログラムを読み出すとき、彼は、プログラムを中断する広告を見ないことを望むだろう。これは、ビデオレコーダの“早送り”機能を使用して、可能であるが、かかる場合、当該広告の終わりを行き過ぎることや再生開始したときのプログラムを逃すことが通常である。更に、この動作は、一定時間を要し、ユーザにとって負担である。あるサービスプロバイダーは、ハードディスクにプログラムを記録すると共に、プログラムの読み出し時に、ボタンの單に一回押すことによって、30秒のスキップ(飛ばすこと)により広告をスキップすることを可能とし、ボタンを押すたびに、30秒ごと広告を進めることを可能とする、レコーダを提供する。“スマートスキャン”システムは、広告の終わりを行き過ぎることを防止し、従つて、見たいと思うプログラムの一秒さえも逃さないことを可能とする。製品番号H D R 6 1 2でフィリップス社により販売されるレコーダは、かかるレコーダの一例である。

20 【0006】

【発明が解決しようとする課題】 これらサービスプロバイダーは、レコーダに他の機能性、例えば放送中のプログラムを中断する能力、及び、プログラム放送を一秒さえも逃すことなく、数秒後にプログラムの実行を再開する能力を付与する。かかるレコーダは、例えば月ごとにサービスプロバイダーに一定料金を支払うことになるサービスプロバイダーとの契約を結ぶことにより、得られる。しかし、プロバイダーは、レコーダのすべての機能性を含む、1種類の契約のみを提供する。従って、記録プログラムの読み出し中に広告をスキップすることを可能とする機能を除く、レコーダのすべての機能を得ることを望むユーザは、テレビジョンの広告を歓迎するので、広告をスキップすることを望むユーザと同額を支払わなければならない。

【0007】 本発明の第1の目的は、サービスプロバイダーがユーザに多様な種の契約を提供することを可能にする、サービスへの契約方法を提案することにある。

50

【0008】本発明の第2の目的は、本発明の実行用の読み出しデバイスを提供することにある。

【0009】本発明の第3の目的は、本発明の実行用の記録デバイスを提供することにある。

【0010】

【課題を解決するための手段】上記第1の目的は、少なくとも1つの特定のイベントを含む入力プログラムの処理に関するサービスの契約方法であって、選択された契約を基に設定でき上記選択された契約に基づいて上記特定のイベントを含む若しくは含まない出力プログラムを提供するのに適した上記特定のイベントの選択手段を、含むデバイスを備えた契約の選択を行うユーザに、多様な契約を申し出るステップと、該選択手段を設定する起因となる上記ユーザによる契約の選択の有効化を、行う有効化ステップとを含む、サービスプロバイダーによって実施される方法によって達成される。

【0011】上記発明によれば、ユーザに多様な種類の契約を申し出ることが可能となり、従って、膨大な数の契約を得ることが可能となる。具体的には、プログラムの記録若しくは読み出し時に広告をスキップする能力に魅力を感じるユーザは、この機能に対応する契約に惹かれるだろうし、記録されたプログラムの読み出し時の広告中の早送りを不能として、より低い料金を支払うという事実に魅力を感じるユーザは、対応する契約に惹かれるだろう。

【0012】上記第2の目的は、少なくとも1つの特定のイベントを含む入力プログラムを読み出したためのデバイスであって、ユーザにより選択された契約を基に設定できユーザにより選択された契約に従って上記特定のイベントを含む若しくは含まない出力プログラムを提供するのに適した上記特定のイベントの選択手段を含む、デバイスによって達成される。

【0013】上記第3の目的は、少なくとも1つの特定のイベントを含む入力プログラムを記録するためのデバイスであって、ユーザにより選択された契約を基に設定できユーザにより選択された契約に従って上記特定のイベントを含む若しくは含まない出力プログラムを提供するのに適した上記特定のイベントの選択手段を含む、デバイスによって達成される。

【0014】本発明は、プログラムの送信中、進行中のイベントの状態を特徴付ける情報アイテムが、送信されるという事実を利用する。例えば、以下に示される種々の状態は、進行中のイベントを特徴付けることができる。

【0015】・数秒後開始：この状態は、プログラム（例えば、映画）がすぐに開始するだろうことを指示する。・一時停止：この状態は、プログラム（例えば、映画）が、一時的に中断されることを指示する（例えば、コマーシャル時）。・進行中：この状態は、プログラムが現在放送されていることを指示する。・停止：この状

態は、プログラムが終了したことを指示する。

【0016】選択された契約によっては、選択された契約どおりに設定された読み出しデバイスは、ユーザが記録されたプログラムの読み出し時に広告をスキップ可能若しくはスキップ不能にするため、この情報アイテムを使用する。同様に、選択された契約どおりに設定された記録デバイスは、ユーザがプログラムの記録時に広告をスキップ可能若しくはスキップ不能にするため、この情報アイテムを使用する。例えば、サービスプロバイダー

10 は、3つの異なる契約をユーザに供することができる。第1の契約は、最も高額であるが、プログラムの記録時若しくはプログラムの読み出し時に広告をスキップ可能とする。記録中、当該契約どおりに設定された記録デバイスは、進行中のイベントについての状態情報を使用して、広告を記録しないようにする。読み出し時、ユーザは、リモートコントローラのボタンを単に押すだけで、広告をスキップすることができる。第2の契約は、第1の契約ほど高額でないが、ユーザが広告を記録しないことを可能としない。記録されたプログラムの読み出し時、ユーザは、早送りを実行することができ、エンティティ内の広告を見ることを回避する。この契約は、先行技術において知られているビデオレコーダの機能に対応する。第3の契約は、最も低額であるが、ユーザが広告を記録しないことを可能とせず、更に、記録されたプログラムの読み出し時に広告の時間に早送りを実行することを可能としない。本発明及び本発明の実行するための効果をもって使用されてよい追加的な特徴部は、図面を参照して以下に詳細に説明される。

【0017】

30 【発明の実施の形態】図1は、本発明を実行するための意図された装備品を含む模範的な電気通信システムを図示する。電気通信システムは、パラボラアンテナ11若しくはアンテナ12と、マルチプレクサ14と、契約通りに設定されたデバイス16と、レコーダ17と、リーダ18と、テレビジョン19と、リモートコントローラ20とを含む。

【0018】ここで図示される例は、MPEGフォーマットでのデータ13の送信に適用される。本発明は、アナログ形式で送信されたデータのような、他のデータフォーマットにも適用できることを注意されたい。データ13は、プログラムの放送局によって放送され、パラボラアンテナに衛星を介して、若しくは、アンテナに地上経路により送信される。サービス15は、これらのデータ13にマルチプレクサ14によって付加される。これらのサービス15は、時間、プログラムガイド、若しくは進行中のイベントの状態に関する情報アイテムであつてよい、補足的なデータ形式をとる。例えば、DVBデジタルビデオ規格若しくはATSCを使用したデジタル送信の場合、データフレームは、イベントに関連する情報テーブルであり進行中のイベントの状態に関する情報

を有するEITテーブルを含む。これらのEITテーブルの構造は、図2の詳細に規定されるだろう。本発明によるサービスプロバイダーは、DVB規格が使用された場合には、EITテーブルによって提供される情報を使用すること、若しくは、ATSC規格が使用された場合には、PSIPTテーブルエディタのようなツールを使用して、マルチプレクサ14によりデータ13に進行中のイベントの状態に関する情報を付与すること、のいずれかが可能である。サービスプロバイダーがデータ13に進行中のイベントの状態に関する情報を付与する場合、当該サービスプロバイダーは、例えば広告時間枠に含まれる各広告の開始及び終了に関する情報のような、EITテーブルに含まれる情報を補足する追加情報を付加することができる。サービス15により補足されるデータ13は、契約通りに設定されたデバイス16に転送され、ユーザにより選択された契約の機能としてデバイス16によって処理される。これらのデータの処理は、図3、図4、図5により詳細に説明される。処理データは、レコーダ17、リーダ18、及びテレビジョン19に、若しくはテレビジョンに直接的に送出される。契約通りに設定されたデバイス16は、契約通りに設定されたデバイス16は、リーダ18若しくはレコーダ17の集積回路からなることができる注意されたい。かかる場合、契約通りに設定されたデバイス16とレコーダ17（別々に、リーダ18）を構成する組立体は、

“記録デバイス”（別々に、“読み出しデバイス”）と称する。契約通りに設定されたデバイス16は、ボックス内の集積回路の形式をとることができ、リーダ18若しくはレコーダ17をケーブル若しくは赤外線リンクのような通信手段によって制御する。更に、契約通りに設定されたデバイス16は、レコーダ17、リーダ18若しくはテレビジョン19をも制御できる、リモートコントローラ20により制御可能である。最後に、レコーダ17及びリーダ18は、一体化されてよい。レコーダ17若しくは記憶デバイスによるデータ13の記録は、ビデオカセット、ハードディスク、DVDデジタルディスク若しくは映像データを記憶可能な他の媒体のような媒体にこれらのデータ13を記憶することを含む。

【0019】図2は、DVB規格の場合のプログラムと同時に送信されるサービス情報の例を示す。サービス情報は、少なくとも1の現在のEITテーブル21と、1の後続するEITテーブル22とを含み、これらのEITテーブルのそれぞれは、セクション長フィールド23と、サービスフィールド24と、セクション番号フィールド25と、イベントフィールド26と、開始時間フィールド27と、継続時間フィールド28と、イベント状態フィールド29とを含む。

【0020】DVBの場合のプログラムに付加されるサービス情報の種々のアイテムは、規格EN300468 V1.3.1（1999-02）に規定されている。

このサービス情報は、次の形式をとる。即ち、①サービスの対応する束、時間及び日付、現在のイベント及びこれからイベント若しくは進行中のイベントの状態に関するような事項を提供するサービステーブル。②使用されるプログラムフォーマット、送信特性、プログラムの内容若しくは言語に関するような事項を提供する記述子。図2に表わされたデータフレームは、DVB規格の場合に送信される必要がある最小限のサービス情報、即ち現在のEITテーブル21と次のEITテーブル22に対応する。現在のEITテーブル21は、現在放送されているイベントを記述する。次のEITテーブル22は、現在放送されているイベントが終了したときに放送されるだらうイベントを記述する。セクション長フィールド23は、該当するEITテーブルに含まれる8ビットのワード数を指定する12ビットのフィールドである。該当するEITテーブルに含まれる8ビットのワード数は、4096より小さくなければならない。サービスフィールド24は、プログラムに付加されるその他のサービスからEITテーブルを区別する役割をする16ビットのフィールドである。セクション番号フィールド25は、該当するEITテーブルが、現在のEITテーブル、次のEITテーブル22、若しくはその他のEITテーブルであるか否かを特定する8ビットのフィールドである。このフィールドが0となるとき、該当するEITテーブルは、現在のEITテーブル21であり、1のとき、該当するEITテーブルは、次のEITテーブル22である。他のEITテーブルは、次のEITテーブル22が終了したとき、放送されることになるイベントを記述するサービス情報の一部を形成できる。これらのEITテーブルは、3以上のセクション数を有する。イベントフィールド26は、記述されたイベントの開始時間及び日付をグリニジ平均時で指示する40ビットのフィールドである。継続時間フィールド28は、記述されたイベントの継続時間を時間、分及び秒で指示する3ビットのフィールドである。イベント状態フィールド29は、進行中のプログラムの状態を指示する3ビットのフィールドである。このフィールドが1となるとき、プログラムは、終了しているか、若しくは、開始されていない。このフィールドが2となるとき、プログラムは、数秒後に開始する。このフィールドが3となるとき、プログラムが休止される。このフィールドが4となるとき、プログラムは、現在放送されている。値5乃至7は、将来的な使用のために確保されており、値0は、未定義の状態に対応する。

【0021】ATSC規格の場合、プログラムに付加されるサービス情報の種々のアイテムが、ATSCの文書A/65Aに規定されている。EITテーブルは、略3時間の規定された継続時間の時間スロットに含まれるプログラムのセットを記述する。EITテーブルは、DV B規格の場合のEITテーブルに含まれると同一種類

の情報を含むが、進行中のイベントの状態に関する情報を一切含まない。結果的には、情報の当該アイテムは、本発明の実現のためにサービスプロバイダーによって付加されることになるが、DVB規格の場合、サービスプロバイダーは、イベント状態フィールド29に既に存在する情報のアイテムを使用することが可能であろう。アナログテレビジョンの場合、サービスプロバイダーは、本発明の実現のために、PDCシステムが利用可能な国々において、プログラムを制御するためのPDCシステムによって提供される情報を使用することが可能であろう。

【0022】図3aは、記録時に広告のスキップが許可される契約に対する、従来的なプログラムの記録の場合における、記録デバイスの模範的な実行を図示する。従来的な記録は、記録デバイス若しくはリモートコントローラ20のボタンを押すことによって、若しくは、記録の開始時間をプログラミングすることによって、なされることはできる。これらは、本分野で知られているビデオレコーダ内部で通常的に使用される技術である。図3乃至図5で図示する実施例は、DVB規格を使用するプログラムに適用される。

【0023】広告のスキップによる記録は、次の通り実行される。第1の時刻t301で、ユーザは、広告が記録されないことを要求する第1の動作301を実行する。この第1の動作301は、例えばリモートコントローラ20若しくは記録デバイス上に配設されるボタンを押すことによって、実現できる。第2の時刻t302では、ユーザは、記録の開始を要求する第2の動作302を実行する。時刻t301、t302は、例えばユーザが“広告無しの記録”といったボタンを使用する場合、同時刻であることに注意されたい。また、第1の動作301は、幾つかのプログラムに対して一度に実行できる、つまり、ユーザは、広告無しで記録したい各プログラムの前に当該第1の動作301を実行する必要は必ずしもないということを注意されたい。現在のEITテーブル21のイベント状態フィールド29が、第2の時刻t302で4でない場合、記録デバイスは、イベント状態フィールド29が、数秒後のプログラムが開始することを指示する値2となる第3の時刻t303まで記録の開始(第3の動作)をしない。現在のEITテーブル21のイベント状態フィールド29が、第2の時刻t302で、プログラムが現在放送されていることを指示する4である場合、記録デバイスは、当該第2の時刻t302で記録の開始を行う(第3の動作)。かかる場合、時刻t302、t303は、同時である。このとき、プログラムは記録される。時刻t304で、現在のEITテーブル21のイベント状態フィールド29は、プログラムが広告によって中断されることを指示する値3となる。記録デバイスは、現在のEITテーブル21のイベント状態フィールド29が、第5の時刻t305で、ブ

ログラムが再び開始されたことを指示する値4をとるまで、記録を停止する(第4の動作304)。記録デバイスは、その後、現在のEITテーブル21のイベント状態フィールド29が、第6の時刻t306で、プログラムが終了したことを指示する値1となるまで、記録を再開する(第5の動作305)。このとき、記録デバイスは、記録を停止する(第6の動作306)。

【0024】図3bは、記録時に広告のスキップが許可される契約に対する、プログラムの定義された記録の場合における、記録デバイスの模範的な実行を図示する。

プログラムの定義された記録は、電子的なプログラムガイドを基礎として実行可能であり、このガイドは、当該ガイドの指示に従って数時間若しくは数日内に放送されるプログラムのセットを指示する。例えば、プログラムの定義された記録は、電子的なプログラムガイドから当該プログラムをユーザが例えばリモートコントローラ20を用いて選択することによって要求することができる。かかる選択の間、ユーザは、広告を記録しないことを選択することができる。

【0025】広告のスキップによるプログラムの定義された記録は、次の通り実行される。記録デバイスは、記録されるプログラムが現在のEITテーブル21にない間、つまり、記録されるプログラムを含むEITテーブルのセクション番号フィールド25が0でない間には、記録を開始しない。第7の時刻t311で、セクション番号フィールド25が、記録されるプログラムが現在のEITテーブル21に存在することを指示する値0となる。記録デバイスは、現在のEITテーブル21のイベント状態フィールド29が、数秒後にプログラムが開始されることを指示する値2となる第8の時刻t312まで、記録の開始(第7の動作312)を行わない。第8の時刻t312から先の記録のステップは、図3aで説明したステップと同一であり、第9の時刻t313、第10の時刻t314及び第11の時刻t315は、時刻t304、時刻t305及び時刻t306にそれぞれ対応し、第8の動作313、第9の動作314、及び第10の動作315は、動作304、305及び306にそれぞれ対応する。

【0026】図4aは、記録時に広告のスキップが許可されない契約に対する、プログラムの従来的な記録の場合における、記録デバイスの模範的な実施例を図示する。

【0027】広告のスキップ無しの記録は、次の通り実行される。第11の時刻t401で、ユーザは、広告が記録されないことを要求する(第11の動作401)。この第11の動作401は、例えばリモートコントローラ20若しくは記録デバイス上に設けられるボタンにより、実行できる。第11の動作401は、選択された契約の如何に拘わらず、契約の特徴的なデバイス及びリモートコントローラが、類似する制御ノブを有する場合、

可能である。しかし、申し込まれた契約が、記録時に広告のスキップの能力を提供しない場合、この要求は、記録デバイスによって無視されるだろう。第12の時刻 t_{402} で、ユーザは、記録の開始（第11の動作402）を要求する。記録デバイスは、このとき、記録を開始する。この記録は、ユーザが、第14の時刻 t_{403} で、例えばリモートコントローラ20若しくは記録デバイスのボタンを押すことによって、同一事項（第13の動作403）を要求したとき、若しくは、第14の時刻 t_{404} で記録媒体が完全に満たされたときのみ、停止されるだろう。

【0028】図4bは、記録時に広告のスキップが許可されない契約に対する、プログラムの定義された記録の場合における、記録デバイスの模範的な実施例を図示する。

【0029】広告のスキップ無しのプログラムの定義された記録は、次の通り実行される。第16の時刻 t_{411} では、記録されるプログラムは、現在のEITテーブル21及び次のEITテーブル22のいずれにも存在しない。プログラムは、このとき、記録されない。第17の時刻 t_{412} で、記録されるプログラムは、次のEITテーブル22に存在する。記録デバイスは、記録されるプログラムに先行するプログラムが終了する第18の時刻 t_{413} まで、つまり、現在のEITテーブル21のイベント状態フィールド29が値1となるまで、記録を開始しない（第14の動作413）。第19の時刻 t_{414} で、記録されるプログラムが終了する（現在のEITテーブル21のイベント状態フィールド29が値1となる）。記録デバイスは、現在のEITテーブル21によって記述されるプログラムの終わりに対応する第20の時刻 t_{415} で、記録を停止する（第15の動作415）。

【0030】図5aは、読み出し時に広告のスキップが許可された契約に対する、広告を含む記録プログラムの読み出しの場合における、読み出しデバイスの模範的な実施例を図示する。

【0031】広告のスキップにより記録されたプログラムの読み出しは、次の通り実行される。第21の時刻 t_{501} で、ユーザは、例えば映画のようなプログラムを見る。この第21の時刻 t_{501} では、現在のEITテーブル21のイベント状態フィールド29は、値4である。第22の時刻 t_{502} で、映画は、広告により中断される、つまり、現在のEITテーブル21のイベント状態フィールド29は、値3となる。第23の時刻 t_{503} で、ユーザは、広告がスキップされることを要求する（第16の動作503）。この第16の動作503は、リモートコントローラ20若しくは読み出しデバイスのボタンを押すことによって実行できる。読み出しデバイスは、現在のEITテーブル21のイベント状態フィールド29が、所望のプログラムが進行中であること

を指示する値4をとる第24の時刻 t_{504} を探索し、第24の時刻 t_{504} まで早送り若しくはスキップし（第17の動作504）、プログラムの読み出しを再開する。時刻 t_{503} と時刻 t_{504} の間隔、即ちプログラム中断時間は、5秒より効果的に少なくなり、数十秒のオーダーであってよい。

【0032】図5bは、読み出し時に広告中の早送りが許可されていない契約に対する、広告を含む記録プログラムの読み出しの場合における、読み出しデバイスの模範的な実施例を図示する。

【0033】広告中の早送りの許可のない記録されたプログラムの読み出しは、次の通り実行される。第25の時刻 t_{511} で、ユーザは、例えば映画のようなプログラムを見る。第26の時刻 t_{512} で、映画は、広告により中断される。第27の時刻 t_{513} で、ユーザは、広告の早送りを要求する（第18の動作513）。第18の動作513は、リモートコントローラ20若しくは読み出しデバイスのボタンを押すことによって実行できる。ユーザは、広告中の早送りを許可しない契約を結んでいるので、読み出しデバイスは、広告中、即ち現在のEITテーブル21のイベント状態フィールド29が値3であるとき、“早送り”機能を作動させない。それ故に、ユーザは、所望のプログラムの残りまでアクセスする間にすべての広告を見なければならない。広告中の早送りを許可しない契約に対する、広告中の“早送り”機能の停止は、次の通り実現される。読み出しデバイスが、広告中の早送りを許可しない契約通りに設定されているとき、且つ、広告が検出されたとき、即ち現在のEITテーブル21のイベント状態フィールド29が値3であるとき、機能停止信号が、読み出しデバイスによって生成され、リモートコントローラ20に、若しくはリモートコントローラ20によって送信される信号を受信するユニットに、又は読み出しデバイスに固有な読み出しユニットに、送られる。機能停止信号の受信は、例えば次の3つの動作の1動作をもたらす。
①リモートコントローラ20からの早送り信号の送信を不能にする。
②読み出しデバイスの受信ユニットのレベルでかかる信号の受信を不能にする。
③読み出しデバイス固有の読み出しユニットのレベルで早送りに対応する読み出し速度を禁止する。

【0034】図6は、本発明による模範的な契約方法を図示する。契約方法は、記録デバイス67と、読み出しデバイス68と、テレビジョン19とを有したユーザへの契約62乃至66のセットを供するサービスプロバイダー61によって実現される。記録デバイス67及び読み出しデバイス68は、物理的に同一のエンティティ、設定変更可能なデバイス69に集合化できる。

【0035】サービスプロバイダー61は、ユーザに各種契約62乃至66を供する。これらの契約は、次の通りである。62は、プログラムの記録時及び記録プログ

ラムの読み出し時に広告のスキップが許可される契約。63は、プログラムの記録時には広告のスキップが許可されるが、記録プログラムの読み出し時の広告中の早送りが許可されない契約。64は、プログラムの記録時には広告のスキップが許可されないが、読み出し時に広告のスキップが許可される契約。65は、プログラムの記録時には広告のスキップが許可されないが、記録プログラムの読み出し時の広告中の早送りが許可される契約。66は、プログラムの記録時には広告のスキップが許可されず、記録プログラムの読み出し時の広告中の早送りが許可されない契約。

【0036】ユーザは、これら契約62乃至66の一を選択し、サービスプロバイダー61に、サービスプロバイダー61により各契約に対して規定された料金を支払うことによって当該契約を結ぶ。従って、サービスプロバイダー61は、数時間までの契約期間の契約を提供することができる。料金は、契約を結んだときに一括で、若しくは、例えば毎日、毎週、毎月、毎年のような複数回で支払われてよい。ユーザが、契約を選択すると、サービスプロバイダー61は、当該契約を有効化して、選択された契約を考慮して設定変更可能なデバイス69を設定する。

【0037】図7は、ユーザによる契約の選択のステップと、契約の選択のサービスプロバイダー61による有効化のステップと、選択された契約に対する設定変更可能なデバイス69の設定のステップとを図示する。通信システムは、プロバイダーデータベース710と、プロバイダーデバイス711と、設定変更可能なデバイス69と、グラフィックインターフェース718とを含む本発明による方法を実現することを可能とする。設定変更可能なデバイス69は、通信ユニット715と、支払いユニット714と、選択された契約に関する情報を記憶するためのメモリ領域717と、常駐アプリケーション領域716とを含む。サービスプロバイダーは、ユーザに有効信号713を送信でき、ユーザは、サービスプロバイダー61にユーザ信号712を送信できる。

【0038】ユーザによる契約の選択は次の通りなされることができる。リモートコントローラ20により、ユーザは、常駐アプリケーション領域716に記憶された常駐アプリケーションを呼び出す。常駐アプリケーションは、グラフィックインターフェース718上に、図6に関する説明で言及されるような種々の契約を表示することを可能にする。グラフィックインターフェース718は、テレビジョン19、若しくは、例えば設定変更可能なデバイス69に設けられたスクリーンのような、文字を表示できる他のスクリーンであることができる。ユーザは、例えばリモートコントローラ20上に配設された矢印若しくは番号を用いて、要望する契約を選択する。このとき、選択信号が、常駐アプリケーション領域716のレベルで生成される。この選択信号は、例え

ば、選択された契約番号に対応する幾つかのビットのワードであることができる。例えば、サービスプロバイダー61が8つの異なる契約を供する場合、この選択信号は、3ビットのワードであってよい。ユーザが契約を選択するための手段は、他にもあることを注意されたい。例えば、グラフィックインターフェース718に種々の契約を表示することを可能とするアプリケーションは、恒久的に、若しくは、ユーザの要求時に、例えばEITテーブルと同一時間で、サービスプロバイダー61によってダウンロードができる。更に、設定変更可能なデバイス69は、インターネットタイプのネットワークにより、プロバイダーデバイス711にリンクできる。この場合、ユーザは、サービスプロバイダー61により利用可能とされたインターネットサイトにアクセスすることができ、当該サイトから契約を選択することができるだろう。最後に、ユーザは、郵便、電話、若しくはサービスプロバイダー61に直接行くことによって、契約をすることができる。この場合、上記選択信号は生成されない。

【0039】選択された契約を有効化するステップは、次の通り実行される。選択信号は、プロバイダーデバイス711に通信ユニット715により送信される。選択信号は、ユーザ信号712中に含まれる。これらユーザ信号712は、支払いユニット714が、例えばチップカードにより、ユーザに契約の支払いを可能とする限り、支払手段に関する情報を含むことができる。これらユーザ信号712が、プロバイダーデバイス711に到達したとき、サービスプロバイダーは、プロバイダーデータベース710に呼び掛けして、ユーザの契約の選択を有効化できるか否かを確かめる。例えば、サービスプロバイダー61は、以前の契約のユーザにより支払いに関してすべてが整っていること、若しくは、契約の支払いが銀行口座からの直接的な引き落としによって実行される場合に、ユーザが当該契約を支払うことが可能なほど十分な残金を有しているかどうかを、確認することができるだろう。契約の選択を有効化するため、サービスプロバイダー61は、プロバイダーデバイス711のレベルで、有効信号713を生成し、設定変更可能なデバイス69の通信ユニット715に当該信号を送信する。この信号は、作動可能若しくは不能とする機構を記述した固有のデータを、ユーザにより選択された契約の機能として、例えば契約テーブルの形式で含むことができる。この契約テーブルは、幾つかのフィールドからなるフレームの形式をとることができ、各フィールドは、選択された契約の機能に対応する。例えば、1のフィールドは、ユーザがプログラムの記録中に広告をスキップすること許可されていない場合には値0を有し、プログラムの記録中に広告をスキップすること許可されてある場合には値1を有するだろう。契約に含まれるデータは、メモリ領域717に記憶でき、サービスプロバイダ

ー61は、有効信号713を連続的に送信する必要はない。従って、サービスプロバイダー61は、ユーザ契約を変更することを望まない限り、有効信号を送信する必要はないだろう。ユーザ信号712及び有効信号713は、プロバイダーデバイス711にリンクされたモデム及び通信ユニット715にリンクされたモデムによって、ケーブルにより転送される。使用される転送プロトコルは、SNMPプロトコルであることができる。有効信号713は、DSMCCタイプのプロトコルによって、EITテーブルとして同一の媒体に転送されることも可能である。

【0040】選択された契約に対する設定変更可能なデバイス69を設定するステップは、次の通り実行される。使用される転送プロトコルがSNMPプロトコルである場合、有効信号713は、設定変更可能なデバイス69に存在する管理データベースMIBを修正することによって、設定変更可能なデバイス69の設定を修正することを可能とする。管理データベースMIBは、ノードからなるツリー形式をとる。これらのノードの一は、契約の機能の一に対応する。SNMPプロトコルは、管理データベースMIBのノードの値を修正することを可能にするので、当該プロトコルによって、設定変更可能なデバイス69の設定を修正することが可能となる。如何なる転送プロトコルが使用されるかにかかわらず、設定変更可能なデバイス69の構成は、メモリ領域717に記憶されたデータの機能通りに、選択契約によって供される種々の機能を作動する。

【0041】図面を参照した上述した説明は、本発明を例証しているのであって、限定するものでない。この点で、幾つかの注記が次になされる。

【0042】図2乃至図5は、DVB規格の例に依存している。本発明は、デジタル及びアナログ式テレビジョンの双方に対する、他の送信規格にも同等に適用される。

【0043】図3乃至図5には、記録若しくは読み出しデバイスの2、3の機能が、表現されてきた。同一のデバイスが、契約を特徴付けるため、これらの機能のいくつかを統合することができる。この点で、図6で言及される契約のリストは、非限定的なものである。

【0044】サービスプロバイダーが、データフレーム13に進行中のイベントの状態に関する情報を附加する場合、当該プロバイダーは、例えば広告時間枠に含まれる各広告の始まり及び終わりに関する情報のアイテムのような、EITテーブルに含まれる情報を補足する追加情報を附加することができる。この場合、特定のイベントは、広告時間枠に含まれる一の広告であることができる。従って、サービスプロバイダーは、以下で説明する契約を申し出ることもできる。このリストは、徹底的なものである。①記録されたプログラムの読み出し時にm個の広告のセットからn個の広告のスキップが許可され

る契約（m及びnは、整数で、nは、mより小さい）。②記録されたプログラムの読み出し時にm個の広告のセットのうちのn個の広告の間で早送りが許可される契約。③m個の広告のセットからn個の広告の記録が義務付けられる契約。

【0045】図7は、本発明の2、3の実施例を図示する。他の通信システムを使用して本発明を具現することは、可能である。特に、他の転送プロトコルが、本発明を実現するために使用されてよい。従って、本発明は、

10 インターネットタイプのネットワークを介したテレビジョンにおいて、若しくは、UMTS規格のような新たな規格を使用した携帯電話のような携帯電話においても使用できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施用の装備品を含む好ましい電気通信システムの図である。

【図2】デジタルビデオ送信DVBの場合のプログラムと同一時間に送信される模範的な実施例を示す図である。

20 【図3a】記録時に広告のスキップが許可される契約に対する、プログラムの記録時の記録デバイスの模範的な実行を示す図である。

【図3b】記録時に広告のスキップが許可される契約に対する、プログラムの記録時の記録デバイスの模範的な実施例を示す図である。

【図4a】記録時に広告のスキップが許可されない契約に対する、プログラムの記録時の記録デバイスの模範的な実施例を示す図である。

30 【図4b】記録時に広告のスキップが許可されない契約に対する、プログラムの記録時の記録デバイスの模範的な実施例を示す図である。

【図5a】読み出し時に広告のスキップが許可された契約に対する、広告を含む記録プログラムの読み出し時の読み出しデバイスの模範的な実施例を示す図である。

【図5b】読み出し時に広告の早送りが許可されていない契約に対する、広告を含む記録プログラムの読み出し時の読み出しデバイスの模範的な実施例を示す図である。

40 【図6】本発明による模範的な契約方法を示す図である。

【図7】ユーザによる契約の選択のステップと、契約の選択のサービスプロバイダーによる有効化のステップと、選択された契約に対する設定変更可能なデバイスの設定のステップとを示す図である。

【符号の説明】

61 サービスプロバイダー

69 設定変更可能なデバイス

710 プロバイダーデータベース

711 プロバイダーデバイス

712 ユーザ信号

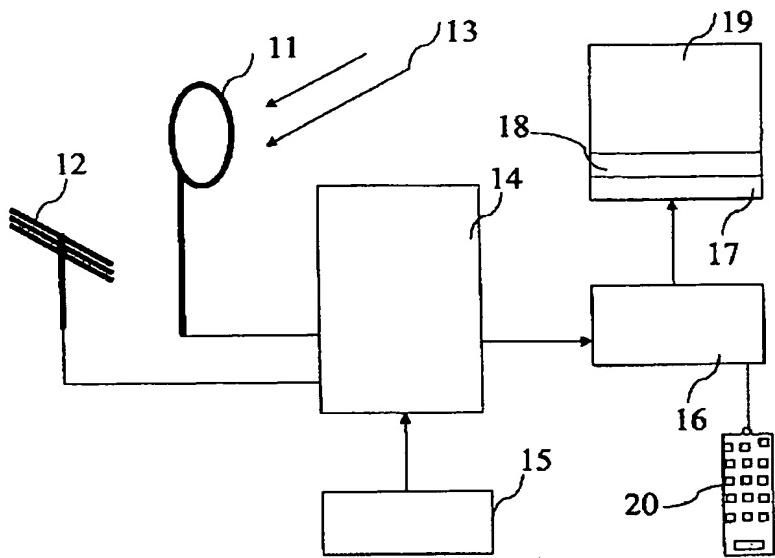
15

16

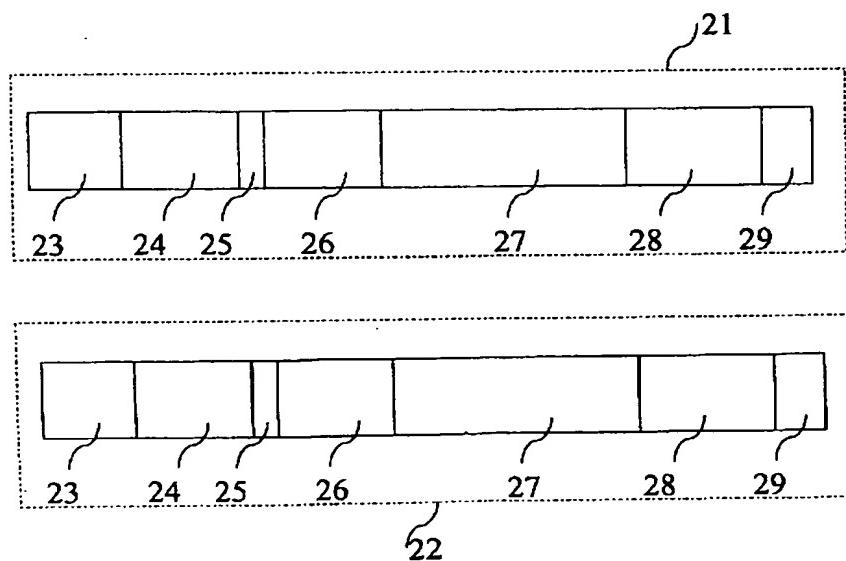
713 有効信号
 714 支払いユニット
 715 通信ユニット

* 716 常駐アプリケーション領域
 717 メモリ領域
 * 718 グラフィックインターフェース

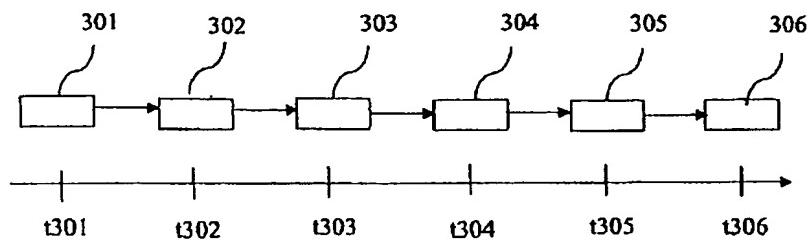
【図1】



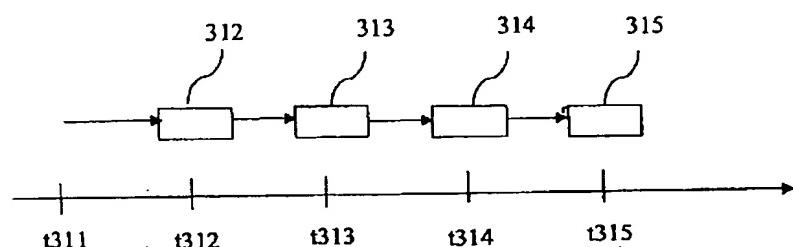
【図2】



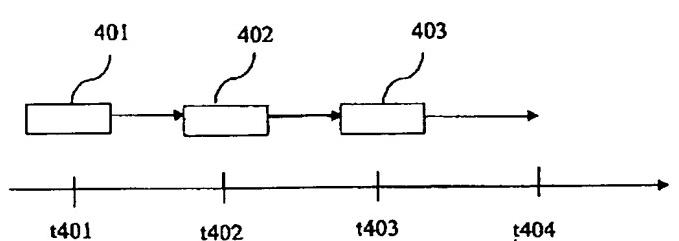
【図3 a】



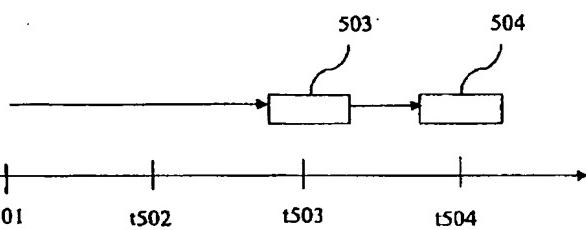
【図3 b】



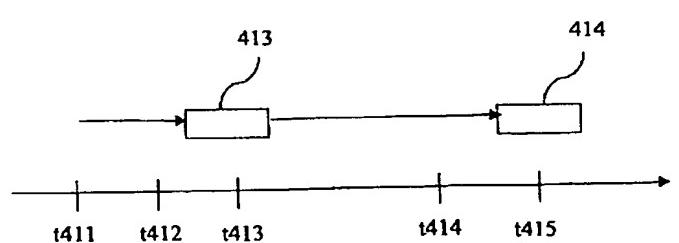
【図4 a】



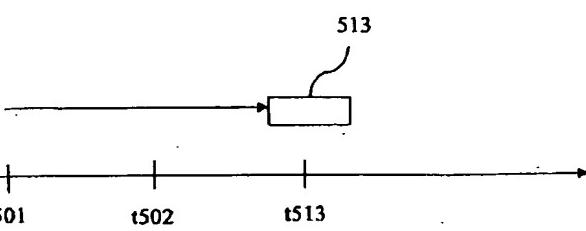
【図5 a】



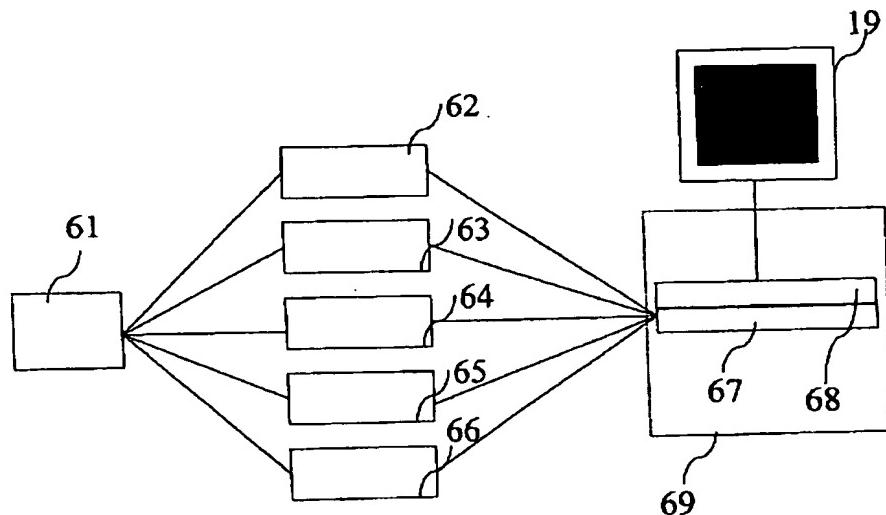
【図4 b】



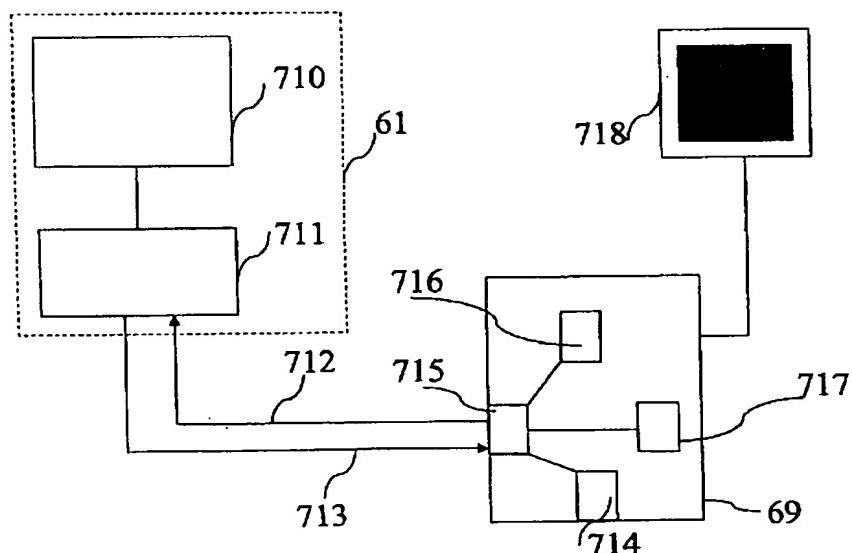
【図5 b】



【図6】



【図7】



フロントページの続き

(72)発明者 フレデリク ガヴィオ
フランス国, 75015 パリ, リュ・ド・レ
グリズ 7
(72)発明者 エマニュエル フランソワ パスカル ヴ
ィゴ
フランス国, 75003 パリ, リュ・ノート
ルーダム・ド・ナザレト 29

F ターム(参考) 5C052 AA01 AC01 AC08 CC01 CC06
DD04
5C053 FA14 FA21 FA23 FA29 GB06
HA21 HA29 KA24 LA06 LA07
LA14
5C064 BA01 BB01 BB07 BC01 BC07
BC16 BC23 BD02 BD04 BD07